

倶 楽 部 白 龍

平成 1 7 年 1 0 月 2 0 日版

by とらくん (TetuGen.ikei)

これは、以前公開していました OS/2 での Palm デバイスの運用方法の紹介ページを少し手直ししたものです。ただし、最新の情報ではありませんのでご留意下さい。

また、紹介している運用方法は、Pilot-Link を使ったシリアル接続のクレードルによるものです。そのため、USB 接続による場合は、解説の対象外です。

(注) 今年、USB 対応の別バージョンの Pilot-Link が公開されました。但し、日本での動作確認はされていません。もし、USB での HotSync に成功されたのならば、OS2.jp か白龍 BBS に報告して下さい。

OS/2 で Palm 機を使うには、

1. Pilot-Link を使う (注 1 参照)
2. USB 経由でメモリースティックに接続する (メモステ import)

があります。

1 は、シリアル接続の旧式機又は、別売のシリアルクレードル及びシリアルケーブルを持っているユーザー。2 は、Sony の CLIE ユーザーが対象です。

尚、PalmDesktop 英語版を Odin で動かしている方がおられます。PalmDesktop 日本版を試した結果は、「Odin で Palm」をご覧ください。また、Java 版の有料 PalmDesktop、Java-Pilot-Desktop もありましたが、作者の方がソースを喪失されたとかで現在どうなっているかは不明です。

ちなみに、私の環境では、Pilot-Link を使って、WorkPad30J 及び PalmIII c が運用されています。

(注)

1. Pilot-Link の使い方は、織華さんの「Pilot-Link への誘い (<http://hp.vector.co.jp/authors/VA014690/PLink.html>)」をご覧ください。OS/2 による Palm 運用に関しては、日本一 (多分世界一) のユーザーのサイトです。

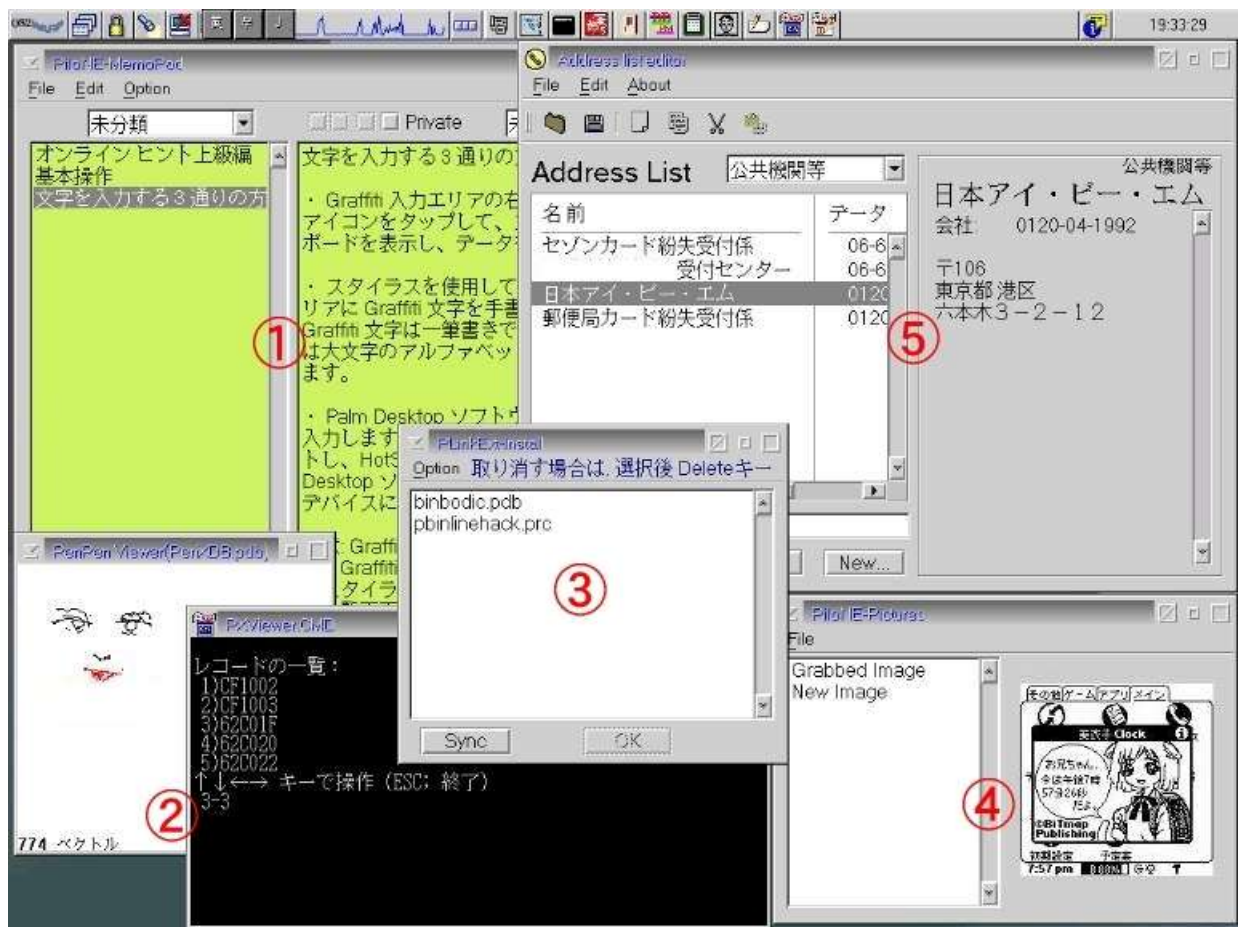
2. 白龍 (パイロン) とは、織華さん提供の Pilot-Link 補完の OS/2 ソフトのシリーズ名です。Pilot-Link は HotSync する機能だけです。これが無ければ OS/2 で Palm を使うことも無かったです。

3. 倶楽部白龍 (クラブパイロン。略称 クラパイ) とは、織華さんのソフトに感動した私が始めた OS/2 で Palm を使うユーザーの集まりです。と言ってもメンバーは、渡辺さんを足して 3 名だけだったりしますが (^_^;)。

目 次

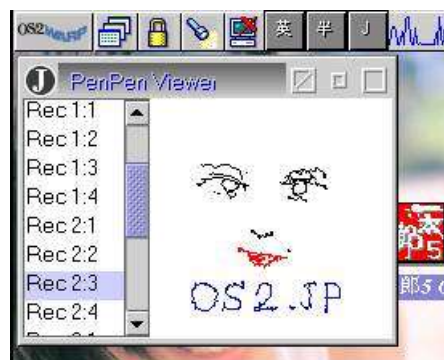
- P. 1 . . . このページ
- P. 2 . . . 私のデスクトップ (主要ソフト紹介)
- P. 3 . . . その他のソフト
- P. 4 . . . 私の作ったソフト
- P. 5 . . . Tips
- P. 7 . . . Odin で Palm

私のデスクトップ (主要ソフト紹介)



織華さんの白龍シリーズ (<http://hp.vector.co.jp/authors/VA014690/>)

- ① メモパッド編集・・・メモ帳編集ソフト。
- ② PenPen ビュワー (VRexx 版)・・・フリーのメモ帳「PenPenCo1 (Seko 様作 <http://pamupamu.tripod.co.jp/indexj.html>)」用のビューワー。



より高性能な上図の Java 版もあります。

- ③ PLNKEX-INST. EXE・・・PRC&PDB ファイル一括導入ソフト。図では、2 個のファイルを 1 回の HotSync で導入しようとしています。
- ④ Pictures・・・Q Paint&TealPaint 用の画像ビューワー (ファイルを bmp で保存可)。

公開していただいているソフトはこれだけではありません。

宇野さんのソフト (<http://hp.vector.co.jp/authors/VA012299/>)

- ⑤ Address List Editor・・・アドレス帳編集ソフト。

その他のソフト

葉山さんのソフト (<http://hp.vector.co.jp/authors/VA009797/>)



elwakt・・・vio版の傑作ファイラーである「eff」からメモ帳、アドレス帳及びTODOのpdbファイルの記録を閲覧できるようにするプラグイン。上の画像は、「Address List Editor」に表示させたものと同じ内容を「eff」で表示したもの。

他にも下記のようなソフトがあります。PalmDesktopこそありませんが、フリーソフト(全て!)でここまで出来るのは日本のOS/2ユーザーの特権です(英語版のOS/2でも動くものが多いと思いますけど詳細は不明)。

makedoc・・・テキストファイルをPalm用DOCファイルに変換するソフト。逆も可。唯一の海外製ソフト。(http://hobbes.nmsu.edu/pub/os2/util/convert/makedoc.zip) OS/2Worldのフォーラムでも何故か無視されていますが、Palmで読書するなら必須のツールです。

InkView.cmd(白龍)・・・Decrio用の画像ビューワ。(Decrioとは、武藤工業㈱が販売していた外部入力装置。デジタルパッド上のノートに専用ペンで書き込むとその内容がPalmへ転送されます。その後、そのデータをメールまたはHotSyncでパソコンに転送して活用しようというもの。PalmOS 3.1に最適化されていますが、PalmOS 4までは動作報告がされていたはずですが、まだ武藤工業㈱に掲示板が残っていると思いますから、興味のある方は確認してみてください。)

私の作ったソフト



Pilot-Link 用 PM フロントエンド「Pilot-LinkPM/2」。アドレス帳等のデータファイルの取得及び導入をボタン一つで出来るようにします。これに、アドレス帳とメモ帳の編集用ソフトの起動ボタンを加えて編集及びデータの置き換えを簡単に出来るようにしています。Pilot-Link で Palm を運用しているのなら一度使ってみて下さい。



「makedoc」支援ツール「ドロップ de わん」。テキストファイルを Palm 用の文章形式の DOC（注：MS-Word 形式とは違います）に変換するには「makedoc」を使いますが、その為には、次のようにコマンドラインから入力します。「makedoc7.exe -b warp.txt warp.prc ワープ5」（最後の「ワープ5」が DOC リーダで見たときの題名になります）。これをドラッグ&ドロップのみで出来るようにするバッチです。あと、「ワープ5」としたいなら「ワープ5.txt」とファイル名を題名と同じにしておく必要があります。また、Pilot-Link を使って Palm へのファイルの導入も出来ます。

Tips

* 2台のPalmデバイスを使っている場合、1台のメモ帳、アドレス帳等のデータをバックアップしておいてから、ファイラー等でもう1台のバックアップディレクトリへそのファイルをコピーすれば同じ内容のバックアップとして使えます。

(注) 私が確認しているファイルの互換性はPalmOS3.1.1とPalmOS3.5.3との場合です。PalmOS4が相手でも問題は無いみたいです。

* Address List Editor で新規登録した直後のファイルはeff (with elwakt) から見た場合に番号が振られていない為 (eff(with elwakt)の画像の下部、0d6026が000000のまま)、複数のアドレスを編集後のファイルの内の一つの内容が表示されます (例:A社とB社のアドレスを追加後effから見ると一覧のB社を選んでもA社の内容が表示される)。これはバグでは無く、一度Palmに移してから再度取得すると番号が割り当てられ正常に表示されます。

* 「PenPenビューワー (VRexx版)」の画像表示ウィンドは、起動後マウスでサイズを変更できます。縦横の比率が変わって画像がゆがみますが、ファイルを切り替えれば正しく描画されます。ただし、変更後のウィンドサイズを記憶してくれないので、再度起動すると元のサイズで表示されてしまいます。

* 「PLNKEX-INST.EXE」の転送プログラムパスの保存が上手くいかない場合があります。そんな時は、プロパティのファイルタブをクリックしパスの欄にプログラムのあるディレクトリのパスを記述しましょう。

(例) C:\Piron\PIINST

* 「Pilot-xfer」の接続エラーが出る場合、ファイルの導入なら「PLNKEX-INST.EXE」がエラーに対応しています。但し、一つのファイルなら下記のバッチを[Install PRC or PDB(Dropped on me)]の代わりに使えばエラーが出て大丈夫のハズです。尚、Rexx ですから、バッチファイル名は、「何々.cmd」として下さい。

```
/* [Install PRC or PDB(Dropped on me)]の代替用バッチ。エラーに対応しています。 */
/* Copyright by とらくん (TetuGen.ikei) */
'@echo off'
trace off
parse arg filename
filename = strip(filename)
if left(filename, 1) == ',' then parse arg ch+1 filename (ch)
S=length(filename)-2
doc=substr(filename, S)
DOC=TRANSLATE(doc)
select
when DOC='PDB' then do
end
when DOC='PRC' then do
end
otherwise say 'このファイルは' || DOC || 'ファイルです。(Enter)';pull .;exit
end
rc=directory('d:\PILOT-LINK.0.9.3') /* ← ドライブを環境に合わせて下さい。*/
do until i = 0
'pilot-xfer.exe -p COM1 -i' filename /* ← COMポートを環境に合わせて下さい。*/
i = rc
end
exit
```

* 掲示板等のhtml形式の文章をDOCファイルにして持ち歩く場合は、ブラウザでテキストファイルに保存し、保存先から「ドロップ de わん」にドラッグ&ドロップします。その後、指示に従いHotSyncする。これが一番早くて簡単な方法です。

* Pilot-Link ではPOBoxの辞書等をHotSync時にバックアップの対象外にする方法がありません。但し、「Backup Pilot(sync)」を使えば全く変更のないファイルはスキップしてくれます。普段は、「Pilot-LinkPM/2」又は、コマンド窓から「pilot-xfer」を使いメモ帳などの主要なファイルを個別に取得しておいて、月一ぐらいで全体のバックアップをするのが現実的な使用方法でしょう。何しろPOBoxのfugodic.pdb程度で20分近くかかったはずですから。

「Backup Pilot」は、全部のバックアップ。win用の「BackupBaddy」と同じモノだと考えれば理解できると思います。リストアは、非常に簡単にできます。

(参考) PenXDB.pdb=PenPenのデータファイル、FEP_UserDict.PDB=Palmのユーザー辞書

* 「MemoPad編集」で更新&saveするとMemoDB.00Xってバックアップファイルが出来ますので

気になる方は削除してもいいです。ただし、「Backup Pilot(sync)」を使えば HotSync 時に削除されますので残して置いた方が無難でしょう。

* config.sys に追加する com ポートのスピードの指定、SET PILOTRATE=57600 は、これ以上の値をつけても無駄です。「こんな数字は扱っていない」ってメッセージが出ます。

* 「Backup Pilot」のプロパティのパラメーターに「COM2-s X:¥data」というふうにバックアップ先のディレクトリを指定しておけば、HotSync する度に入力する必要はありません。

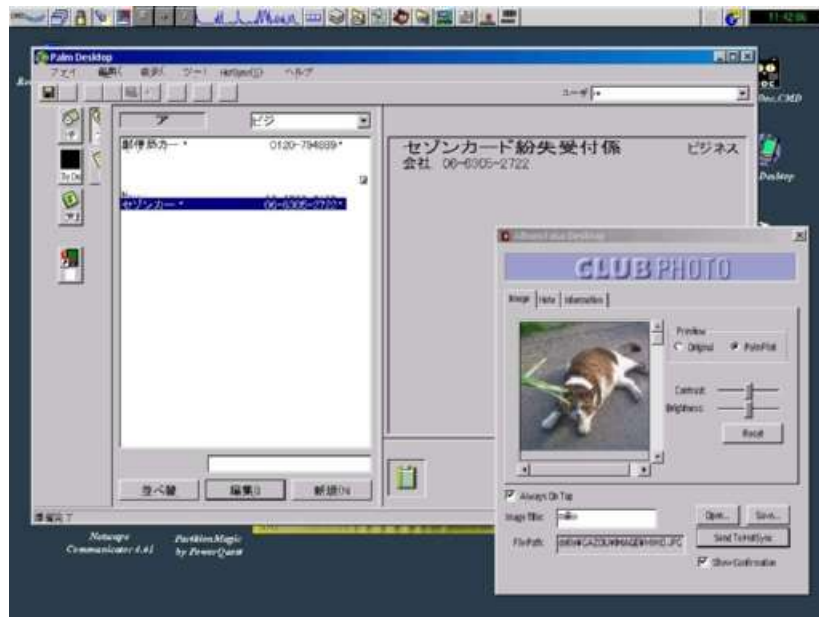
* 「Address List Editor(Addredit.exe)」のプロパティのプログラムの作業用ディレクトリーに「X:¥data」というふうに AddressDB.pdb のバックアップ先を指定しておけばこのファイルを指定するのが簡単です。

* 複数のデバイスで使い分けるために、Pilot-Link の解凍を別のディレクトリで行ってそこから、makefolder.cmd を実行しても無駄です。デスクトップ上に別の新規のフォルダーは作成されません。別にフォルダーを作ってそこに必要なソフトを登録して下さい（最初のフォルダーをリネームすれば可能？）。

* インストール関連のツールは、機種ごとに使い分ける必要はありません。

Odin で Palm

ここでは、Odin を使って動いた Palm 用の Windows ソフトを紹介します。



Windows 版の PalmDesktop 日本語版と AlbumToGo 用ツール (Jpeg 画像を Palm で閲覧できるように変換する) を起動したところです。

PalmDesktop は、左側のボタンがつぶれた状態で表示されています。日本語部分は、途中で切れていたり、文字化けがあったりしますが、単なるビューワとして使うだけなら使え無くはないかも知れません。また、一番重要な日本語入力、出来ませんでした。但し、ずいぶん前のことですので最近の Odin でどうかは知りません。

HotSync は、HotSync.exe を別途起動しておけば、Windows で使っているのと同じようにできます (注: シリアル接続)。

英語ソフトである AlbumToGo 用ツールは、問題ないみたいです。

最新の dailybuild では、タスクバー部分が OS/2 と同じになっています。



PalmOS エミュレーター (POSE)。ただし、システム ROM の吸い出しは、OS/2 からは無理だったので、Windows で実行しました。余白が白いからといって、これは画像を張り付けたものじゃないです。